

# なかの

# 就労支援ネットワークNews

2008年3月  
平成20年

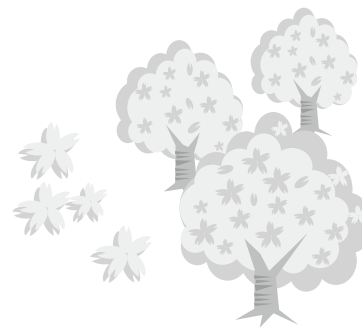
No.14

発行：なかの障害者就労支援ネットワーク事務局  
中野区障害者福祉事業団（ニコニコ事業団）  
〒165-0026 東京都中野区新井2-8-13 TEL(03)3388-2941 FAX(03)3388-2942  
URL <http://www.next-nakano.com> E-mail [office@next-nakano.com](mailto:office@next-nakano.com)

印刷：(社福) 東京コロニー  
コロニー印刷所  
TEL (03) 3953-3541  
FAX (03) 3565-0471

## CONTENTS

- P.1 会長あいさつ
- P.2 ネットワークについて（地図）
- P.3 目からうろこの（区役所）職場実習
- P.4 講演会報告
  - 養護学校 進路状況
  - 準備フェア報告
  - 編集後記



### ■ ごあいさつ

久しぶりに冬らしい冬となりました。

中野区内の障害者のために日々ご活躍の皆様お元気でいらっしゃいますか。

なかの障害者就労支援ネットワークの会長として永くこの会を推進されてこられた勝又和夫さんに替わって、私社会福祉法人中野あいいく会理事長山本マサミが後任をお引き受けすることになりました。経験も力もない私ですので勝又さんの後任などとてもないことですが、役員の方々から全面的協力をいただけるということでしたのでお引き受けいたしました。

このネットワークも発足して九年になろうとしています。本年度は組織の立て直しを図り、年間計画も充実させて動き出し、久しぶりにニュースも発行のはこびとなりました。

今、障害者自立支援法が施行され、新体系にすでに移行された施設、これから移行準備をされる施設、それぞれご苦勞をされていることと思います。そうしたなかで、中野区内の障害者サービスの事業所が一同に集い、力を結束してこの組織がますます大きな役割を担っていかなければならないと思います。ことに、自立支援法で力を入れている障害者就労は当ネットワークの中心課題です。

今後、新しい制度のもとで就労支援・地域生活支援等の役割分担を明確にしていき、中野区内の障害者サービス事業所のネットワーク網が活性化し、より強い連携を図ってまいりたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

なかの障害者就労支援ネットワーク  
会長 山本 マサミ

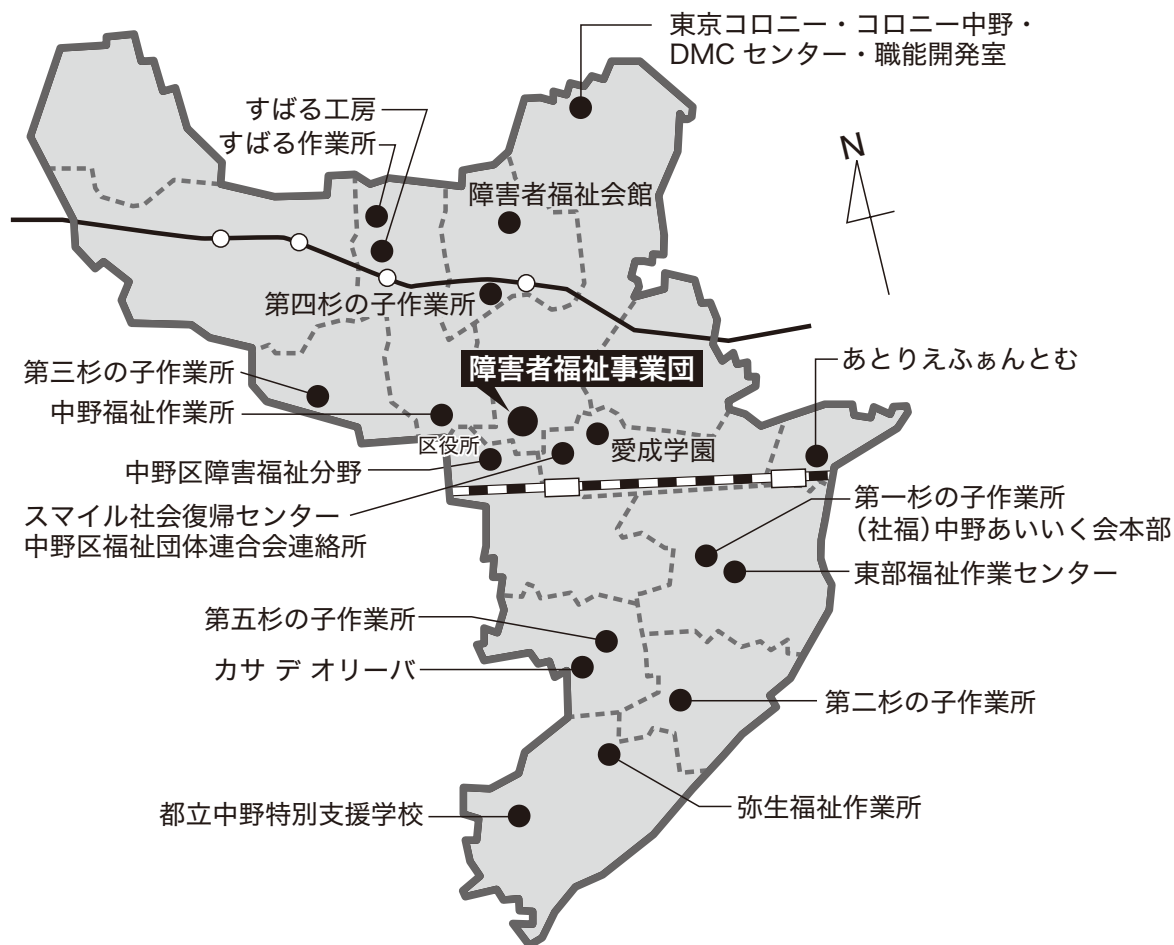
# なかの障害者就労支援ネットワークの

## これまでと今後

中野区にある多くの障害者施設や団体が、共通の課題を解決するためには、関係機関との連携と協力が必要不可欠であるということから、「できることからやっつけよう」「まずアクションを起こしてみよう」を合言葉に平成11年4月『なかの障害者就労支援ネットワーク』を立ち上げました。当初は19か所で構成されていたネットワークも、現在は24か所になりました。この間に各所の職員の異動や自立支援法の施工の影響のあり、各所それぞれが忙しく運営が滞ることもありました。今年度初めに各所の責任者が集まり意見交換を行い、現在、立て直しを行いながら運営をしております。

主な活動は企業就労に関する情報交換や情報の共有のほか、講演会開催等を行っています。このような活動をとおして、障害のある方の就労について、それは企業就労や福祉的就労など様々な形態がありますが、その人がその人らしく働けることを目指して、24か所の施設が協力し運営を行っていきたいと思います。

### 【ネットワーク参加施設マップ】



## 目からうろこの(区役所)職場実習

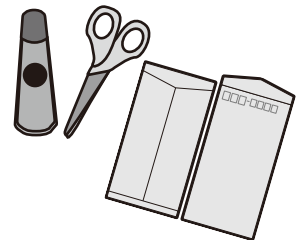
中野区役所 保健福祉部障害福祉分野  
障害者社会参画担当 石崎

「何が食べたい？」と聞かれたら、「おいしいものが食べたい！」と思います。そして、おいしいものは何かを考えますが、世の中にはおいしいものが一杯あるのに、悲しいことに私はそれらを知らないため思い浮かびません。今まで食べたことのあるものの中からあれこれ考えだします。一般企業での就労体験の少ない障害者にとっても同じこと。「働きたい！」という意欲はあるのですが、具体的に何をどうしたいのかわからないようなのです。

「区役所実習って、仕事は単調で（シール貼り、折り込み、封入 e t c）日当も少なく、就職できるわけでもなし、メリットないじゃないの！」というのが区役所実習を担当する私の感想でした。

しかし、担当してみてこれは間違っていました。職場体験の少なさ故に働くことのイメージがもてない彼らにとって、「体験した」という経験は大きな自信になるようです。まさに「百聞は一験（一見）にしかず」です。イメージがふくらむことにより、就労の意欲が湧いてくるようです。

支えるつもりで担当した私にも、福音がありました。実習生の皆さんは、毎日元気に挨拶をし、気持ちよく仕事に取り組んでいました。そんな真摯な姿に元気をいただきました。



### ◆本人のコメント

**Yさん**：初めはついていけるか心配だったが作業はできた。実習は疲れた。

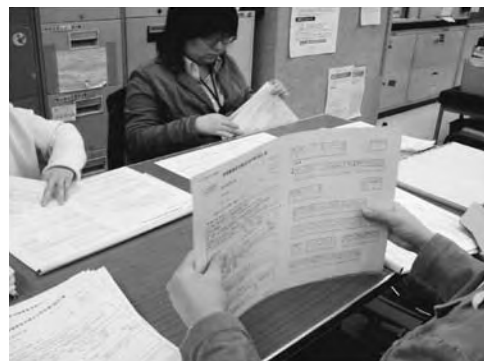
**Tさん**：初めに緊張したけど後半は楽しかった。昼休みに区食堂や実習に参加したメンバーとサンモールのラーメンを食べに行き楽しく会話することができた。今後の就労に向けてこの実習体験を役立てたいと思う。

**Bさん**：思うように出来なかったが、実習に参加してよかった。体力に自信がもてた。

**Hさん**：今後区役所で働きたい。

一般就労に近い環境で体験実習を行い、就労のイメージを掴んで頂けたと思います。

ご協力頂いた区役所の皆さん、ありがとうございました。



# 平成19年度なかの障害者就労支援ネットワーク講演会報告

平成20年1月28日、中野区勤労福祉会館において、なかの障害者就労支援ネットワーク講演会が開催されました。今回は“障害者自立支援法施行後に伴う施設運営の実態と今後の展望について”と題し、「国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園」上席調査役の田中 正博さんを講師にお迎えし講演を行っていただきました。講演は午後1時半～4時まで、二回の休憩を挟み『障害者自立支援法の概要』『相談、ケアマネジメント(地域自立支援協議会)』『障害福祉サービス事業者の経営スタイル』『2008年1月現在の障害者自立支援法に関する新着情報の提供について』という流れで、配布された資料に沿って行われました。解りやすい資料と丁寧な説明によって、多数の参加者も自立支援法に対する理解を更に深めるとともに、

今後への展望をより一層広げられたことと思います。

資料の始めに、障害者自立支援法の第1条が紹介されていました。

「この法律は、(中略)障害の有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的とする。」

今後は“地域で障害者を支える”ことがより重要になってきます。その際に、同じ目的を持ったもの同士の横のつながり＝ネットワークの重要性も、更に増していくことでしょう。

なかの障害者就労支援ネットワークとしても、果たすべき役割を自覚し、より良い支援を目指して取り組んでいきたいと思っています。

## 中野養護学校卒業生の、過去10年間の進路先状況について

福祉に関しては、この10年間で各区順次福祉施設の開設もあり、新規学卒の在宅者を出さない卒業後対策を継続し、日中活動を希望する卒業生の進路先確保の実績を残しています。最近2年間は卒業生の約半数が授産施設・作業所・訓練等給付施設へ、2割程度が更生施設・生活介護事業へ進んでいます。

また、全ての区に就労支援機関が設置され、渋谷区を除く3区は訓練機能も有しています。卒業後すぐ企業へ就労せず、就労支援期間の訓練を受けている卒業生は、支援を受けながら2年程度で企業へ移行しています。

企業就労は、多数事業所を抱える大企業での雇用が増えました。また、新たな職域として第三次産業のサービス業(飲食に加え清掃、介護福祉等)や事務業での雇用が増えています。本校学区は本社機能を有する企業が多い地域の産業構造を受け、最近4年間は製造業への就労はなく、一方で最近3年間は一定割合で事務業への就労実績があります。その他、特例子会社の設立も相次いでおり、最近5年間で企業就労の10%~30%を占めるようになってきています。

## 就職準備フェアが開催されました!!

就職準備フェアは、知的障害者の雇用促進を目的にハローワーク新宿・東京障害者職業センター・新宿区障害者就労福祉センター・(財)杉並区障害者雇用支援事業団・中野区障害者福祉事業団が共催し、毎年行っています。

### ◎職場実習相談会事前オリエンテーション

平成19年12月13日(木)

参加企業 5社 参加者 86名(中野区民39名)

### ◎職場実習相談会

平成20年1月25日(金)

参加企業 5社 参加者19名(中野区民5名)

## 編集後記

今回、久しぶりのニュース発行となりました。これまで担当をされていた事務局委員の皆さんの異動などにより、全員が入替わることによって、新人同士での取り組みに、何から始めていいのかもわからないといった状況でした。しかし、いざ編集会議を始めると、次から次へと多くの意見が出され内容の濃いものになったと、自画自賛しています(笑)来年度は発行回数を2回にし、皆さんにホットな情報を提供したいと思っています。次号もご期待下さい。